

令和2年度第2回岐阜県教科用図書飛騨地区採択協議会（議事録）

- 1 期 日 令和2年7月15日（水）
- 2 開催時間 9:00～16:30
- 3 開催場所 高山市教育研究所 3階多目的研修室
- 4 参加者 飛騨地区採択協議会委員 21名
研究員（発表者）10名 研究員（補助者）11名
飛騨地区採択協議会事務局（高山市教育委員会学校教育課職員）2名
司会：事務局 説明：事務局 協議進行：会長

5 議事録

司 会	<p>□本日、司会を事務局の高山市教育委員会が務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。本協議会は、資料1ページの規約に基づき運営をいたします。</p> <p>初めに、開会の言葉を副会長 沖畑飛騨市教育長お願いします。</p>
副会長	<p>【開会の言葉】</p> <p>□皆さん、おはようございます。このたびの豪雨では飛騨地区でもたくさんの被害が出ています。皆様各地で災害の防止にご努力されていることと存じます。被害にあわれました方々にお見舞い申し上げますとともに、皆様のご努力に感謝申し上げます。そんななか、迂回路を通っていただいたりしながらご参集いただきありがとうございます。今日は、これから4年間使う中学校の教科書に関する採択協議を行っていただきます。ぜひ、研究協議の報告を受けて、疑問点については明らかにしていきながら、市村での教科書採択に考えをまとめていきたいと思えます。では、ただ今より令和2年度第2回岐阜県教科用図書飛騨地区採択協議会を始めます。</p>
会 長	<p>【会長挨拶】</p> <p>□みなさんおはようございます。今年度と昨年度との違いは、コロナ対策をしなければならぬことで、窓を開けたまま行きます。上着などで調節願いながら、長時間となりますので、ご対応をよろしくお願いいたします。本日の会議は、来年度から使用する小・中学校の教科書で、小学校は昨年度採択替えをしたので、その通りでよいのかを確認します。中学校は新しい教科書の採択替えをしなくてはならないので、選定をします。ここで選定したものを3市1村の教育委員会で採択を決議していただくという流れになっています。今日は選定の教科書をここでまとめていただき、教育委員会で提案するものを決めていただくこととなりますのでよろしくお願いいたします。</p>

司 会	<p>□本日の会議は、資料1ページの規約第10条に示されたように、会の成立には半数以上の委員の出席が必要ですが、本日全員の参加をいただいておりますので、協議会は成立していることを報告します。今回の議事録ですが、9月1日から公表の対象となります。議事録は、下呂市教育委員会事務局にお願いしております。これより協議に移ります。協議の進行を協議会会長にお願いします。</p>
会 長	<p>□まず令和3年度に飛騨地区で使用する小学校の教科書を選定します。庶務から説明願います。</p>
事務局	<p>□第1回協議会で説明したように、4年間は同じ教科書を使用するように法令で定められております。資料4ページをご覧ください。昨年度採択替えとなった小学校の教科書一覧が載せてあります。それぞれの教科書を使用する事に問題はなく、特別なご意見がなければ、この選定案で承認をお願いします。</p>
会 長	<p>□小学校の教科書に関しては、この4ページに書いてあるようで問題はなかったようですが、何かご質問あるいはご意見はありませんか。</p> <p>(意見なし) よろしいですか? それでは小学校の来年度使用する教科書に関しては、資料4ページのようでよいという方は、挙手をお願いします。(全員挙手) ありがとうございます。来年度使う小学校の飛騨地区の教科書は、この4ページのとおりとなりました。ありがとうございます。</p> <p>それでは次の協議に入ります。事務局より研究会の様子や協議の進め方について説明願います。</p>
事務局	<p>□それでは前のプレゼンと合わせて説明させていただきます。今日までに終日3回の研究会を教育研究所で開催しました。54名の研究員が各発行者の教科書について調査研究及び本日の報告の準備をして参りました。調査研究については、この3回の研究会の中だけでは行えきれません。よって各研究員は勤務時間以外にも、自宅などの静謐な環境の中で多くの時間を費やして熱心に調査研究を行いました。調査研究にあたっては、まず種目ごとに飛騨地区の生徒の学力の実態を明確にします。今後の指導にあたっての重点を見定め、その後調査を研究する着眼点を定めます。調査研究の方法について明確にしながら、すべての教科書について調査を行いました。この着眼点と調査研究の方法に従って、すべての発行者の教科書について多くの時間を費やし調査研究を行いました。調査研究の対象となった教科書一覧は採択協議会資料の5ページをご覧ください。そしてその全てについて意見書を作成しました。例えば数学で言えば7社の教科書についての調査研究を行い、7つの意見書を作成しています。この意見書は9月1日から公表します。これより表紙の日程で種目ごとに研究員のリーダーにより調査研究結果の報告を行います。報告では着眼点から見たすべての発行者のよさを報告した上で、中でも評価の高かった発行者についてさらに詳しく報告します。最終的に選定案を提示します。しかしながら委員の皆様には、全ての発行者の中から選定する教科書を選んでいただくことができますので申し添えさせていただきます。報</p>

<p>会 長</p>	<p>告の後、質疑応答の時間を取ります。協議委員の皆様には飛驒の生徒たちのために、積極的な発言をお願いいたします。第1回目の協議会と同様に、本日も皆様にすべての教科書を見ていただけるように、机上に順次配布します。また、休み時間にも閲覧していただけるよう、この部屋の隣の部屋にて整えています。多くの委員さん方には今日までに教科書展示会等でご覧頂いております。これからの報告の中では、実際の教科書等を実物投影機で示して説明しますが、説明中や質問の合間に近くの教科書を手にとってご覧ください。また、休憩時間にもご覧ください。さらに、お手元には飛驒地区の7か所で開催された教科書展示会で寄せられた意見書の冊子も準備してあります。種目別協議では、研究会の調査研究と合わせて、一般の皆様のご意見も考慮してご協議ください。以上で説明を終わります。</p> <p>□何かこの説明に関してご質問ありますか。今年度の調査の特徴は二つあります。まずコロナ対応ということで、今まですべての教科、種目が同じ日に集まって調査をしていたのですが、今年は種目ごとに三密を避けるために、別々の日を設定し調査を進めて参りました。もう一点の違うところは、調査期間を長くし調査をより充実させるということを行いました。調査委員の方々にはご苦労をかけたというような点が昨年と違うところです。</p> <p>それではこれから調査研究結果の報告と採択案のところを進めていきます。各教科の研究結果の報告を受けた後に、種目ごと、つまり教科ごとに選定教科書として議決していますのでよろしく願います。最初に国語の調査研究結果について報告を願います。本日の午前中は、国語、社会、美術、家庭科、数学までの予定となっていますのでどうかよろしく願います。</p>
<p>国語 研究員代表</p>	<p>◇報告</p> <p>国語の目標、飛驒地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。</p> <p>その後評価の高かったA者（東京書籍）とD者（光村図書）について詳しく説明。</p>

会 長	<input type="checkbox"/> 報告は終わりました。ご質疑はございますか。
委 員	<input type="checkbox"/> QR コードの説明がありましたが、教科書に QR コードがあるということを初めて知りまして、今までの教科書にもあったのかちょっと分からないのですが、この QR コードを読み取るというのは、子ども達を読み取るのか。それとも学校で教師が読み取って説明するのか。子どもが調べるとしたなら、スマホがない子どもがいるということを考えると、どうやって使うのかよくわからないのですが。
研究員	<input type="checkbox"/> QR コードは二通りの使い方があります。例えばスピーチであったら、スピーチの様子が実際に画像で見えるわけです。今回のコロナ対応の場合も、それを実際スマホ等で見て、家庭学習でも活用できます。もう一方、学校では読み取ったものをプロジェクター等で大きく映せば、授業の中で教師も活用することができます。物語に鳥の名前が出てくることがありますが、その実際の鳴き声も QR コードから再生することもでき、とても有効だと感じます。
委 員	<input type="checkbox"/> スマホがない子どもがいた場合はどうですか。
研究員	<input type="checkbox"/> 保護者所有のスマホ等を夜間に使わせてもらうような依頼文書を学校から出すことで、家庭でも QR コードが活用できると考えます。
会 長	<input type="checkbox"/> その他ございませんか。
委 員	<input type="checkbox"/> 調査ということで数回にわたってこれだけ丁寧に意見書をまとめてくださったこと本当にありがとうございます。読ませていただきましたし、見方・考え方に基づく資質能力を国語科として育みたいなかで、飛騨のお子さん達にとっての弱さ、根拠を持って自らの意見を主張するとか、比較・情報一括しながら読み取るであるとか、そういった点でD者の教科書について、その視点が優れているようなことがわかるようなところを教えてください。

<p>研究員</p> <p>委員 会長</p> <p>研究員</p> <p>会長</p>	<p>□D者1年生の教科書の138ページとA者1年生の教科書の106ページをご覧ください。「根拠を明確にして書こうとか説明しよう」という教材があります。D者の方は、何をどのようにしたらよいのかを①、②、③、④と端的に書いてあり、子どもの思考に沿っています。前後「生かす」とか「つなぐ」により、どうつないだらよいか明確にしてあり、その下に図に繋げるという発想も、全部この中につながります。次のページをご覧ください。140、141ページの方でも、飛騨地区で弱いとされている図や表を使ったもので、レポート形式で根拠を示しながら説明するという授業になっています。そうした点で飛騨地区の子ども達に適していると考えます。</p> <p>□よく分かりました。</p> <p>□よろしいですか。他にご意見や質問がある方。今最終的に残った2者A者とD者を比べた場合、飛騨地区の子どもたちにとっては、こちらの方がよかったという報告をしていただきました。他にいかがですか。</p> <p>私からですが、着眼点の「他教科等における読書の指導や学校図書館における指導との関連」ではD者が二重丸になっていますが、その点について再度説明願います。</p> <p>□A者は年に3回の読書活動ができるようになっていきます。言語活動につながるようになっていくのですが、D者は、「ポップを作ろう」など、言語活動につながる活動が3つ提示してあり、そのあとで更に本の紹介があり、読書生活を豊かにしようということで、この「探しにいこう」や本の紹介が、年間大きく一つずつあります。思考を鍛えるであるとか、言語活動につなげるということでは、D者の3つの言語活動の例をみると、D者の方が飛騨地区の子ども達には適していると判断しました。</p> <p>□わかりました。その他よろしいですか。(意見なし) それでは国語においては研究員の調査研究報告のとおり、D者の教科用図書を飛騨地区採択協議会で選定することということでご承認いただける方は挙手願います。(全員挙手)</p> <p>それでは国語は、D者(光村図書)の教科用図書を飛騨地区協議会として選定します。次に書写の調査研究結果について引き続き報告願います。</p>
<p>書写 研究員代表</p>	<p>◇報告</p> <p>書写の目標、飛騨地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。</p> <p>その後特に評価の高かった上位2者、A者(東京書籍)とD者(光村図書)について詳しく説明。</p>

会長	<input type="checkbox"/> 報告が終わりました。ご質疑はございませんか。
委員	<input type="checkbox"/> 教科書がD者で、書写もD者ということですが、教科書との関連はあるのでしょうか。
研究員	<input type="checkbox"/> 教科書は国語と書写は関連しておりました。どの者も関連していましたが、わかりやすいです。
委員	<input type="checkbox"/> 生徒にとって、思考がバラバラではなく、関連していることを確認されたのですね。
研究員	<input type="checkbox"/> はい。確認しました。
委員	<input type="checkbox"/> ありがとうございました。
会長	<input type="checkbox"/> 他にどうでしょうか。
委員	<input type="checkbox"/> 丁寧に調べていただいてありがとうございます。文字を正確に使うというときに、文字を書く喜びですとか、そこに残るものに対する自己満足とか、様々な思いが文字にはあると思いますが、文字を書くのが楽しくなるなどか、バランス良く書くということが、美しい文字を書くうえでは大事な要素だと思うのですが、調査員の皆さんが心に残って点について教えてください。
研究員	<input type="checkbox"/> どの教科書も文字を書く喜びであるとか、それから自分の思考と繋げるとか生活に繋がる場所は非常に工夫してありまして、心に残る資料はたくさんありました。ただ、全国学テの調査の結果から考えたときに、飛騨地区のお子さんが文字をたくさん読んだりとか、根拠を明確にして資料から調べたりとか、それを表出するというのは、少し難しさを持っているため、そういった点で考えたときに、D者は、必要な情報に絞って非常に明確に書かれているので、そういう点では、心に残りやすいと捉えます。
委員	<input type="checkbox"/> はい。わかりました。

<p>会 長 委 員</p> <p>研究員</p> <p>委 員 会 長</p>	<p><input type="checkbox"/>その他どうぞ。</p> <p><input type="checkbox"/>4つの教科書を比べた図がありましたけど、あのなかで、D者の自主学習の進め方ってというのがポイントになっていましたが、もう一度具体的に教えて頂ければと思います。もう一点は、いろは歌の書き方がどの本にも乗っているのですが、なかには、いろは歌の意味が書いてある教科書と、そうでない教科書があって、D者は書いてなかったと思いますが、文字を書くときに自分が何を書いているかということをや心を留めて書くということがとても大切だと思うのですが。</p> <p><input type="checkbox"/>自主学習のポイントについてですが、一番は、書写ブックが取り外して自宅へ持って帰ることができるという利点があります。もう一つはD者の最後の所にある「日常に役立つ書式」がまとめてあるので、家に帰ってからも、必要に応じて見る箇所がはっきりわかりやすいということがあります。それから先程の QR コードのコンテンツはそれぞれにあります、D者だと一人一台のタブレット支給が実現したときにも分かりやすくなっており、家でも学校でも使いやすいようになっていると感じました。A者の QR コードは一括して載っているため、自分で探さなくてはならず、D者の方が使いやすいと感じました。いろは歌については、D者は国語の教科書の方に載っています。</p> <p><input type="checkbox"/>はい。わかりました。</p> <p><input type="checkbox"/>その他よろしいですか。(質問なし) それでは書写においては研究員の調査研究報告のとおり、D者の教科用図書を飛騨地区で選定することにご承認いただける方は挙手願います。(全員挙手) 書写はD者(光村図書)の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定させていただきます。それでは社会に移ります。</p>
<p>社会(地理) 研究員代表</p>	<p>◇報告</p> <p>社会(地理)の目標、飛騨地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。</p> <p>その後評価の高かったA者(東京書籍)、C者(帝国書院)について詳しく説明。</p>

<p>会 長 委 員</p> <p>研究員</p> <p>委 員 会 長</p>	<p><input type="checkbox"/>報告が終わりました。ご質疑はございませんか。</p> <p><input type="checkbox"/>たくさんの教科書があるなかでご苦勞様でございます。どちらも優れている点があることが分かりました。最終的にA者を推薦された理由で、最も大きな点を教えてください。</p> <p><input type="checkbox"/>はい。重点とした着眼点3についてです。先程も説明したように東京書籍 82 ページに、興味関心意欲がわく資料が充実しているということがあります。さらに 270 ページにあります地域の在り方で、自分と関わる地域や社会についての問題解決的な学習の手順が、非常に詳しく丁寧に取り上げられ、学びに向かう意欲を高めていく工夫がよくしてあります。また、227 ページをご覧ください。そこには中部地方の単元で白川村の合掌造りについて掲載されています。さらに学習を発展させる特設ステージ「もっと地理」という特設ページがあり、21 ページに渡って掲載されています。こうした子ども達が本当に主体的な学びに向かう意欲を大事にしているという点でA者を選定しました。</p> <p><input type="checkbox"/>ありがとうございます。</p> <p><input type="checkbox"/>その他いかがでしょうか。(意見なし) 地理におきましては、研究員の調査報告のとおり、A者の教科用図書を飛騨地区で選定することにご承認いただける方は挙手願います。(全員挙手) それでは地理はA者(東京書籍)の教科用図書を飛騨地区の協議会として選定させていただきます。続きまして歴史についてお願いします。</p>
<p>社会(歴史) 研究員代表</p>	<p>◇報告</p> <p>社会(歴史)の目標、飛騨地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。</p> <p>その後評価の高かったA者(東京書籍)、C者(帝国書院)について詳しく説明。</p>
<p>会 長</p> <p>研究員</p> <p>会 長</p>	<p><input type="checkbox"/>報告が終わりました。ご質疑はございませんか。A者とC者を比べて、A者のどこが一番良かったのかをもう一度説明願います。</p> <p><input type="checkbox"/>重点とした着眼点1の部分です。A者、C者ともに章のまとめとして振り返るページを付けて、基礎的基本的事項を抑えられるよう工夫されていますが、A者の方は、歴史の学習を進める上で基礎的な技能を身につける「スキル・アップ」のコーナーで、集める、読み取る、まとめるという技能の定着を図っているところが20箇所あります。その他に「歴史にアクセス」というコーナーも設けて、基礎的な技能を身につける工夫がなされているということでA者を選びました。</p> <p><input type="checkbox"/>その他いかがでしょうか。(質問なし) 歴史において研究員の調査研究報告のとおり、A者の教科用図書を飛騨地区で選定することにご承認いただける方は挙手願います。(全員挙手) それでは歴史はA者(東京書籍)の教科用図書を飛騨地区として選定させていただきます。続きまして公民についてお願いします。</p>

<p>社会（公民） 研究員代表</p>	<p>◇報告 社会（公民）の目標、飛驒地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 その後評価の高かったA者（東京書籍）、B者（教育出版）について詳しく説明。</p>
<p>会 長 委 員 研究員 委 員 研究員</p>	<p>□報告は終わりました。何かご質疑ございませんか。 □報告いただきました点は、どちらも大変優れているということだったかと思えますけれども、その中でも特にA者を選んだ理由と、比較表の4点目のところについて違いが大きく出ていますが、その点についても説明願います。 □重点とした着眼点3、そして意見書の2の2についてですが、進んで学習に取り組むという視点で、特に発展的な学習について注目して調査しました。そこで社会人として、主体的な学習や興味関心をもつ特設ページとして、A者では今日的な課題を取り扱っています。「18歳へのステップ」という特設ページが挙げられています。さらに「もっと公民」という特設ページで16ページにわたって、今日的な課題が取り上げられています。そういう視点からや地域へ出ていく社会人として、主体的に学ぶ意欲を高めていくことができるということでA者に判断いたしました。 □もう一点もお願いします。 □今説明したところに含まれますが、授業の後、家庭へ帰っても、こういった特設ページに興味関心を持って学んでいけるのではないかと考えました。</p>
<p>会 長 事務局 会 長</p>	<p>□よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。それでは私の方から、教科用図書について説明する順番として、国語もそうだったのですが、最初にA者が出てくる理由は何かあるのですか。 □今の点について、事務局から説明します。教科書が検定され、資料5ページにあります一覧に番号がついています。その番号の順で説明をしていますので、どの教科もそのようになっております。ご了承ください。 □発行者の番号順で説明頂いているということですのでご承知ください。他にございませんか。それでは公民は研究員の調査研究報告のとおり、A者の教科用図書を飛驒地区で選定することにご承認いただける方は挙手願います。（全員挙手）それでは公民はA者（東京書籍）の教科用図書を飛驒地区としては選定させていただきます。引き続き地図の結果について報告願います。</p>
<p>社会（地図） 研究員代表</p>	<p>◇報告 社会（地図）の目標、飛驒地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 その後評価の高かったA者（東京書籍）、B者（帝国書院）について詳しく説明。</p>

会 長 委 員	<p>□報告が終わりました。何かご質疑はございませんか。</p> <p>□2者ではサイズが違います。最近教科書の重さや大きさは話題となっておりますが、B者のものはサイズが大きいのですが、その点について話題になりませんでしたか。</p>
研究員	<p>□新しい教科書が大きくなっており、これは見やすさを追求したものです。さらに重量は今までのものよりも軽くなっています。ページ数は大きく変わっていません。紙質を良くして重量を減らすという工夫がされています。</p>
委 員	<p>□QR コードの説明で、意見書にもあえて 38 箇所、111 コンテンツと記載されていますが、内容的にもB者（帝国書院）の方が優れていると捉えてもよろしいか。</p>
研究員	<p>□QR コードについて言いますとA者も設置されていますが、B者は子どもの立場からして、主体的に学んでいくべきよいポイントで QR コードが示されていると評価しました。</p>
委 員	<p>□公民、地理、歴史はA者で地図帳がB者と別ですが、授業での教師の使いやすさ、生徒の見やすさなどで心配はないのでしょうか。</p>
研究員	<p>□それについても委員の中で話題にあがりましたが、特にA者ですと他の公民地理歴史との関連は当然同じ発行者なので関連付けています。B者はどうかということをつぶしたところ、地図と合わせて歴史年表を掲載したり、歴史のマークや公民のマークを表示しながら他分野との関連を充分図っています。そういった箇所の数も調べましたが、A者もB者も数的には大きな差はありませんでしたので、重視する3つの着眼点を考えてB者ということにしました。</p>
会 長 研究員 会 長	<p>□異なっても問題ないということですか。</p> <p>□はい。</p> <p>□その他いかがでしょうか。（質問なし） それでは、ご質問も尽きたようですので、地図に関しては、研究員の報告にありましたように、B者（帝国書院）の教科用図書を飛騨地区として選定することにご承認いただける方は挙手願います。（全員挙手） それでは、地図はB者（帝国書院）の教科用図書を飛騨地区の採択協議会として、選定させていただきます。</p>
技術家庭科 （技術） 研究員代表	<p>◇報告</p> <p>技術家庭科（技術分野）の目標、飛騨地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。その後評価の高かったA者（東京書籍）、C者（開隆堂）について詳しく説明。</p>

<p>会 長 委 員</p> <p>研究員</p> <p>委 員 会 長</p>	<p>□報告は終わりました。何かご質疑はございませんか。</p> <p>□丁寧に精査いただきありがとうございます。技術科においては、授業で学んだ知識技能等を生活の課題解決に活かすという大切な視点についてご説明いただき、大変よくわかりましたし、確かに評価の高い書籍は優れていると感じました。</p> <p>一点質問ですが、今後、子ども達がスマートフォン等をはじめとする、情報デジタル機器を学校生活のなかでも、必要に応じては、ある程度の条件下で使用を認めていくというような国の方針も出ています。その中でスマートフォンに関わっての情報モラル、これについての2者の取り扱いについて話題になったことはありますか。</p> <p>□A者については207ページをご覧ください。またC者につきましては233ページをご覧ください。どちらの教科書も今日的な課題であります情報モラルについて丁寧に取り上げられております。A者につきましては、207ページから始まりまして208ページ209ページとわたり、特に情報に関わって便利な点と注意すべき点がとても丁寧に記載されておりました。C者につきましては、事例1から事例4ということで、少しでも生徒が正しい情報機器の使い方を考えることができるよう具体的に紹介されています。</p> <p>□よくわかりました。ありがとうございました。</p> <p>□その他はいかがでしょうか。(質問なし) 技術分野においては、研究員の報告のとおり、A者の教科用図書を飛騨地区の採択協議会として選定することをご承認いただける方は挙手願います。(全員挙手) それでは技術はA者(東京書籍)を選定させていただきます。引き続き家庭科の報告にはいります。</p>
<p>技術家庭科 (家庭) 研究員代表</p>	<p>◇報告</p> <p>技術家庭科(家庭分野)の目標、飛騨地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。その後評価の高かったA者(東京書籍)、C者(開隆堂)について詳しく説明。</p>

会長	□報告が終わりました。ご質疑はございませんか。
委員	□先程の技術でもありましたA者のDマークに、通信費は自己負担とありますが、家庭で行うときに通信費が発生するという点によろしいですか。
研究員	□生徒が家庭で行うときに自宅に wi-fi が設定されていて、無制限の使用が可能な家庭であればさらに費用がかかるということはありません。デジタルコンテンツについてご質問いただきましたので、もう少し詳しくお話させていただきます。どの発行者におきましてもデジタルコンテンツを多数用意しております。A者のように1ページにまとめてあり、自分はどこの学習をデジタルコンテンツで使うのが選びやすくなっています。C者につきましては、ページの右下のところに QR コード等がありまして、そこを活用してデジタルコンテンツに入ることができるよう工夫されています。これを見ることによって家庭においても実習を行ったりするときの参考になると捉えています。
会長	□よろしかったですか。その他にどうですか。
委員	□教科書はだいたい目次に沿って進められますが、C者は家族や家庭から入っているのに対して、A者はまず衣食住で、家族は最後になっていますが、学習を進めていくのに影響はあるのでしょうか。
研究員	□その点につきましても議論しました。A者については、衣食住の生活の基本となるところからスタートしていき、最後に家族、地域と発展していく構成です。一方C者では、成長、家族、地域を最初に学習する構成になっています。どちらがより良いのかについては、一長一短はあるだろうと考えます。この4つについては学習をしなければならないことを第一に考え、調理実習等の時期を考えるなかで、A者の方が、子どもたちが学ぶ順番に適していると判断しました。

会 長	□よろしいでしょうか。
委 員	□生徒が主体的対話的に学び、学びを振り返るという視点でお話がありましたが、二つの教科書を見ますと、C者は「振り返り」というのが右下にあります。A者は「自己評価」がありますけど、このことについて話題になりましたか。
研究員	□学習の最後には、家で振り返って、さらに生活に生かすということが当然大切になります。振り返りの仕方については、各者記載の仕方については様々ではありますが、いずれも自分自身の学習を振り返ることができるという点では大きな差はないと判断させていただきました。
会 長	□よろしいですか。
委 員	□A者は振り返りで丸を付けるだけですよね。それに対してC者は、言葉で書くようになっています。そういった違いはどうですか。
研究員	□丸を付けるとか言葉で書くとか、表現の仕方はいろいろありますが、授業後に必ずしも、言葉で書いて振り返るというわけでもありませんので、まとめ方については差があってもよいと判断しました。
会 長	□その他どうでしょうか。（質問なし）それではご質疑も尽きたようですので、家庭科におきまして、研究員の調査報告のとおり、A者の教科用図書を飛騨地区で選定することをご承認いただける方は挙手願います。（全員挙手）それでは、家庭科はA者（東京書籍）の教科用図書を飛騨地区として選定させていただきます。
数学 研究員代表	◇報告 数学の目標、飛騨地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 その後評価の高かったA者（東京書籍）、D者（教育出版）について詳しく説明。

会 長	<input type="checkbox"/> 報告が終わりました。何かご質疑はございませんか。
委 員	<input type="checkbox"/> 自ら学習に意欲的に取り組みやすいという点で、A者ではどこでそれが見られますか。
研究員	<input type="checkbox"/> 飛騨地区の生徒は、一生懸命で学習意欲はあります。技能とか、表現処理の能力も低くはないのですが、それを使った思考の説明であるとか、深い学びにつなげるといふところには、弱さがあります。そこに視点を置き、表現力を高めていこうとしたときに、根拠や基礎基本となる考え方が、A者は丁寧に記されていて、どの生徒にもわかりやすいという工夫が、教科書のなかに多く見られましたので、その点でA者は優れていると判断しました。
会 長	<input type="checkbox"/> よろしいですか。
委 員	<input type="checkbox"/> 最初にA者の余白というところを出されましたが、子ども達の主体的な学びということと、自分の学びを振り返ることができるということは、面白い着眼点だと思います。確かにもう一冊と比べて余白が広いです。教科書を大切に使う、学びを振り返ることができるという事であれば、非常に効果的な余白ですが、他者についても教えていただければと思います。
研究員	<input type="checkbox"/> 最近の傾向ですと、教科書をしっかり使って、教科書に書き込むということは他のどの発行者も重要視して作成されてきました。ここについては、いろいろなものがありますが、平方根の場所についてで言いますと、ルート2は一体何を示すのかということを実際書き込んで、順番にルート2、ルート3という一辺の長さを示すようになっています。これがルート4になったらどうなるのかとか、ルート5になったらどうなるのかを、まるまる1ページ使えるようにしてあります。A者は他の単元においても、教科書に書いて覚える箇所が多く、最終的には、忘れたときに戻って確かめることができる。そういう工夫がされてありました。
委 員	<input type="checkbox"/> ありがとうございます。
会 長	<input type="checkbox"/> 他、いかがでしょうか。

委員	□今回の改訂では学び直しの機会の設定がポイントとなっていて、各者どうなっているのか興味を持って話を聞かせてもらいました。本当によくわかりました。ありがとうございました。飛騨地区の子ども達の学力調査の状況は良好だと伺っていますが、そういうなかで今現在使われている発行者から変えていくということでは話題になることはありましたか。
研究員	□それも含めて検討させていただきましたが、今現在の飛騨地区の生徒の実態から、基礎基本を使って表現する際の豊かさであるとか、思考を深めるような表現力であるとか、そういったところに関して、すべての着眼点を調査し総合的に判断した結果から一番適切にサポートできる教科書であると思いました。
委員	□分かりました。ありがとうございました。
委員	□分かりやすい説明ありがとうございました。教科書展示会の意見書をみますと、B者、D者を手にとられた方が多い。現在使われている教科書だからだということからだと思います。A者の教科書が使われるとして、実際現場の教員が、そのよさをどれだけ生かせるかが大きな問題になると思いますが、そのへんは話題になりませんでしたか。
研究員	□その点についても話題にはなりました。けれども今の子どもたちの実態を的確に捉えてサポートしていくのに、他の発行者よりもわかりやすいと判断しました。飛騨地区の授業での、「終末からの授業改善」ということを考えたときに、後半に充実できるような授業展開としたい。それを考えたときに、前半部分はできる限りスッキリさせた状態で、後半を充実させた展開をしていくのにこの教科書が適切であると判断しました。
委員	□今後飛騨地区の数学部会でそれを大事にして進めていくということですね。わかりました。
会長	□はい。他はいかがでしょうか。
委員	□来年新しく入ってくる子はいいのですが、在学中の子は、途中から教科書が変わることになりますが、その影響はないのでしょうか。
研究員	□最初は戸惑うこともあるとは思いますが、学び直しがあったり、読みやすいとか見やすいとか、この教科書に慣れていくことで、よい影響があると思います。
会長	□よろしかったですか。他どうでしょうか。(質問なし) それではご質疑も尽きたようですので、数学は研究員から報告がございましたA者を飛騨地区では選定することについてご承認いただける方は挙手願います。(全員挙手) それでは数学はA者(東京書籍)の教科用図書を飛騨地区採択協議会で選定させていただきます。それでは午前中の日程がすべて終了しました。進行を事務局の方に願います。

美術 研究員代表	<p>◇報告</p> <p>美術の目標、飛騨地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。</p> <p>その後評価の高かったA者（開隆堂）、C者（日本文教）について詳しく説明。</p>
<p>会長 委員</p> <p>研究員</p> <p>会長 委員</p> <p>研究員</p> <p>会長</p>	<p>□報告は終わりました。何かご質問はございますか。</p> <p>□飛騨の子にとって美術館は遠いので、ある意味で遠い所の教材を扱ったものについてのことがよく分かりました。逆に飛騨の子ならではの感性を力いっぱい表現できる教材として、印象的なものがありましたら教えてください。</p> <p>□飛騨ならではのということですが、これまでの実践を振り返ると、飛騨版画の実践があります。その点については、各教科書を見ていただくと、どの教科書にも版画の題材があります。飛騨で実践されてきた白黒の版画の資料については、どこも目に留まるものではありません。しかし、版の可能性ということで、多色の版画であるとか、技法をより工夫した様々な色を使った版画などがありますので、今まで積み上げられてきた版画教育の文化をさらに新しいものにしていくという点でそういった題材が組み込まれています。また、従来からある美術の題材以外に、現代美術などを取り上げた題材もあります。例えば、C者46ページにあるように、美術の力で課題を解決するといった、大きな意味での美術の力が示されています。単に作品を作るということではなく、美術科の目標にある生活や生き方に関わる部分として魅力的な題材が仕込まれています。</p> <p>□その他いかがでしょうか。</p> <p>□それぞれにデジタルコンテンツがありますが、C者は360°でみえるようなものがありますが、それぞれでデジタルコンテンツの特徴や違いはありますか。</p> <p>□QRコードが示されています。A者については、その作品が実際に展示されている美術館のホームページに繋がるようになっていきます。例えば、これが外国のルーブル美術館に展示されている作品ですと、そちらのホームページに繋がって、その国の言葉で示されているものが出ます。C者については、特徴としては作家、直接その方のインタビューをしたものが画像として出たりとか、あるいは特徴的なのは、ワールドトレードセンターの建物ですが、これだけ見ると何なのかと思うのですが、QRコードを通して動画画像を見ると、中の様子や建築の意味などが解説されていて、なぜこれが表紙になっているのかということも、大きな意味での美術の力の大きさを子ども達が実感できるようなコンテンツとなっています。</p> <p>□その他いかがでしょうか。（質問なし）それでは調査研究報告のとおり、C者の教科用図書を飛騨地区で選定するというご承認いただける方ば挙手願います。（全員挙手）それでは美術はC者（日本文教出版）の教科用図書を飛騨地区で選定させていただきます。</p>

<p>理科 研究員代表</p>	<p>◇報告 理科の目標、飛騨地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 その後評価の高かったA者（東京書籍）、B者（啓林館）について詳しく説明。</p>
<p>会 長 研究員 会 長 委 員 研究員 会 長</p>	<p>□説明は終わりました。何かご質疑はありませんか。 着眼点の2の(1)とは何でしたか。 □学習意欲を喚起し、社会や日常生活と関わるという題材や素材です。 □質問はございませんか。 □A者の教科書の形は特徴的ですが、3年生の31ページのように、探求の道筋をこのようにすると分かりやすくまとめることができたので、こんな形になったのかと思いますが、何か話題になりませんでしたか。 □これも一つの大きな視点でございまして、A者だけA4変型判です。横は細いのですが、他のコンパクトサイズと一緒に縦だけ長いです。一番のメリットは、先ほど紹介させていただきましたように、一つの実験とか課題に対する探求の流れが、考察までがこの中に収まっています。それに対してB者は丁寧ですが、若干間延びしているように感じるほど広く使っております。A者は1ページにギュッと入っています。子どもたちが自ら学ぶ力をまず付ける中で、これを基に主体的に探求していくには大変有効であると考えます。 □他はいかがでしょうか。(質問なし) 理科においては研究員の調査報告にありましたように、A者の教科用図書を飛騨地区で選定することに承認いただける方は挙手願います。(全員挙手) それでは理科はA者（東京書籍）の教科用図書を飛騨地区採択協議会の選定させていただきます。</p>
<p>保健体育 研究員代表</p>	<p>◇報告 保健体育の目標、飛騨地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 A者（東京書籍）とD者（学研）について詳しく説明。</p>

会 長 委 員	<p>□報告が終わりました。何かご質疑はございませんか。</p> <p>□比較対象をもって非常にわかりやすく説明いただきありがとうございます。喫緊の課題としてはコロナの対応ということがあります。感染症をどのようにして扱っているのかという比較であるとか、熱中症もこれから心配ではあるのですが、そのあたりについて話題になりましたでしょうか。</p>
研究員	<p>□先程文字の大きさについて申し上げたところは、感染症の広がりのところを用いて比較しました。ここでは感染症について3密等の配慮についてA者、D者共に取り上げられています。特にA者では広がりを抑えることについて取り上げられています。また、熱中症についてはどこも取り上げられています。</p>
会 長	<p>□その他いかがでしょうか。保健体育の教科書は普段学校に置いて、使うときだけ使っているのでしょうか。</p>
研究員	<p>□すべての学校の事は把握しておりませんが、家庭へ持ち帰り学んでいる生徒が多くいることは確かです。実際にそのように指導をしました。</p>
会 長	<p>□よろしいでしょうか。それではご質疑も尽きたようですので、保健体育においては研究員の調査研究報告のとおり、A者の教科用図書を飛騨地区として選定することにご承認いただける方は挙手願います。(全員挙手) それでは保健体育はA者(東京書籍)の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。(ここで休憩を取ります)</p>
音楽(一般) 研究員代表	<p>◇報告</p> <p>音楽の目標、飛騨地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいたA者(教育出版)とB者(教育芸術社)の調査結果を説明。</p>

会 長	□報告が終わりました。何かご質疑はございませんか。
委 員	□最近の音楽は楽譜や写真だけでなく、ワークシートのものが増えてきたと感じています。系統的発展的なワークシートの位置は2者で確実に違うと感じました。説明のとおりB者の方が系統的だと思いました。やはり楽譜を学び、すぐワークシートがあるというのは、近年の音楽では大事なことで、教科書に記入するというのは、かなりウエイトを占めるものなのではないでしょうか。
研究員	□学習のまとめということで、どの教科も共通するかと思いますが、ひょっとすると音楽というのは表現して終わる。こういうことで終わってしまいがちですが、その表現を通し、また学習を通して、その曲のよさはどこからきているのか、なぜそのような強弱がついているのかというのをきちんと文章でまとめる。このような力が求められていると思っています。学習したことをただ表現して終わるのではなく、もう一度自分でまとめてみるということが大切であり、文章でまとめることは大切だと捉えています。
委 員	□どうもありがとうございました。
委 員	□2・3年生が上下になっている理由について教えてください。
研究員	□学習指導要領もそのようになっています。実態等も考えて、学習したことを少し深めていくようになっているのではないかと思います。
委 員	□教科書に掲載されている楽曲は、共通しているのか、各者で決めているのかを教えてください。
研究員	□多少曲が違うことはあります。共通教材がありまして、そこから教科書発行者が選んでいます。
会 長	□その他よろしいでしょうか。(質問なし) それでは、音楽一般においては、研究員の報告があったとおり、B者の教科用図書を飛騨地区採択協議会で選定することにご承認いただける方は挙手願います。(全員挙手) それでは音楽一般は、B者(教育芸術社)の教科用図書を飛騨地区として選定をさせていただきます。続きまして、音楽器楽について願います。
音楽(器楽) 研究員代表	◇報告 重視した着眼点、意見書に基づいたA者(教育出版)とB者(教育芸術社)についての調査結果を説明。

会 長	□報告が終わりました。ご質疑はございませんか。
委 員	□琴の説明のときに、五線譜から入っていくA者と、そうでないB者ということでしたが、子ども達にとってはどうなのでしょう。A者もあとから同じように出てきますが、どうなのでしょう。
研究員	□それは調査研究時でも話題になりましたが、子ども達は合唱の練習などで五線譜は見慣れているので見やすいと思います。ただそれだけではなく、本物に触れ、親んでほしいということからこちらの方が良いと判断しました。
委 員	□A者もあとから同じように出てきますが、最初から本物に触れさせた方がよいということでしょうか。
研究員	□やはり日本楽器で表記もそうなので、そのように捉えました。
会 長	□その他いかがでしょうか。
委 員	□音楽の時間は週に少ないのですが、これだけのことをやることは大変だと思います。この中で選択して授業を行われると思いますが、教員個人に任されているのか、音楽部会で共通なものを選んでいるのか教えてください。
研究員	□今言われたとおり、2・3年は週に1時間、1年生で週1.3時間ですので、内容すべてということは厳しいのですが、例えば、琴については、飛騨地区の学校の実態から色々調査研究の中で話したときに、琴を日本楽器として学習している学校が多いという実態があるということでしたので、今回はたくさん楽器が載っているのですけれども、琴が載っているものを選びました。全てやっているわけではありませんので、学校によって選択することもあります。そんなことも配慮しながら調査しました。
会 長	□飛騨の実際行われている授業の実態から考えてという視点での回答だったと思います。その他よろしいでしょうか。(質問なし) それでは音楽の器楽におきましては、調査研究の報告のとおり、B者の教科用図書を飛騨地区として選定することをご承認いただける方は挙手願います。(全員挙手) それでは音楽の器楽は、B者(教育芸術社)の教科用図書を飛騨地区として選定させていただきます。
英語 研究員代表	◇報告 英語科の目標、飛騨地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 その後特に評価の高かったA者(東京書籍)とC者(三省堂)について詳しく説明。

<p>会 長 委 員</p>	<p>□報告が終わりました。ご質疑はございませんか。 □小学校の教科化を意識された説明であったと思います。今回の改訂で、小学校と高校の接続を踏まえて、無理なく盛り込まれているか感じられたことを教えてください。</p>
<p>研究員</p>	<p>□新しい学習指導要領では中学校の語彙数でいますと 1600 から 1800 となっております。現行の学習指導要領では 1200 は扱ってもいいとなっております。6 者とも 1600 以上 1700 以下で語彙数になっておりました。その中で学習指導要領では 1600 すべてを繰り返し習得するまで覚えなくてもいいということで、受容語彙と発信語彙の二つに分けてあります。小学校で習うこの 600 から 700 の言葉と合わせると、中学校で新しい学習指導要領では、2200 から 2500 語が教科書で扱われるとなっております。どの教科書を取りましても、語彙数においては、配慮とそれから、この言葉が発信語彙だよ、つまり書いたり話したりするときに繰り返し使う言葉だよと分かりやすくしてありますし、残りの言葉については、受容語彙として聞いてある程度分かればよい単語として扱われています。それは 6 者全て配慮されていました。もちろんこの A 者もしてありますし、小学校で習ったことは、授業で扱いやすいようになっています。文法事項におきましては、高校から降りてきたものがいくつかあります。現在完了形の進行形と、不定詞のなかの原形不定詞、それから高校 1 年生で習う仮定法、どの教科書をとっても、この三つの文法事項を新しい教科書に入れますと、今習っている 2 年生が、3 年生の教科書を使うと、2 年生で習ったものとして 3 年生が習わない部分が出てくるという、非常に苦しい状況です。しかし、それについてはどの教科書を採用したとしても、先生の方で教える場合に、これらは詳しいところまでやるのではなくて、文の中でこういうものを理解できる程度にとどめてありますので、どの教科書でもその辺の配慮は、教師側が工夫していくものと考えています。また以前の学習指導要領にはあった、感嘆文の簡単なものが今回取り入れられております。しかし、普通の文を感嘆文に書き換える様な問題にはなっていないで、会話の中で使われるような自然な感嘆文、読んでいく中で理解できれば良いようになっておりますので、小学校の音で親しんだもので必要なものは正確な文法で、そうでないものは音で聞いて理解できればいいとどの教科書もなっています。これらの点についても A 者の教科書は非常によく配慮されていると思います。</p>

<p>委員</p> <p>会長</p>	<p>□ありがとうございました。お尋ねしたことは、今ほどの説明の中でお聞きすることができたので、感想を言います。英語の教科書のなかで単に英語を習得するだけでなく、いろんな領域を伸ばすように工夫されていたり、グローバルな人材をとということで、環境や人権に配慮された素材が扱われていて、英語を通して人を育てようということが伝わってきました。小学校の子ども達が卒業するまでに、半分ぐらいが英語を嫌になってしまうというか、そんな統計も見たことがありますが、それを超えるような工夫があちこちされているのだと分かりました。ありがとうございました。</p> <p>□他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ご質疑も尽きたようですので、英語につきましては、研究員の報告のとおり、A者の教科用図書を飛騨地区の採択協議会で選定することにご承認いただける方は挙手願います。(全員挙手) それでは、英語はA者(東京書籍)の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定させていただきます。</p>
<p>道徳 研究員代表</p>	<p>◇報告</p> <p>道徳科の目標、飛騨地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。</p> <p>その後特に評価の高かったE者(学研教育みらい)とF者(あかつき)について詳しく説明。</p>

<p>会 長 委 員</p>	<p>□報告が終わりました。ご質疑はございますか。</p> <p>□学んだ知識や技能をいかに思考判断表現に結び付けるかというところをどの教科でも考えてきましたが、E者の1行目にユニット学習で、「ひとつのテーマで価値が異なる教材を連続して学ぶことにより、広い視野で考えることができるよう構成されている」とあります。そして先程ひとつ、全学年で生命の尊重、いじめ、情報モラルについて特筆されましたが、これについては、どちらかというところ、学年の1～3年までの系統性であるということに捉えてよろしいでしょうか。</p>
<p>研究員</p>	<p>□いじめ、生命尊重については、3年間を通してずっと学んでいくように、内容についても、いろいろとちりばめられているというところですね。なおかつ、ユニット学習については、同じ野球選手の話であっても、その中で違う価値を考えていくとして、深めて、道徳的価値についてよく考えていくということができるよう構成されています。</p>
<p>会 長 委 員</p>	<p>□その他はいかがでしょうか。</p> <p>□今ほど丁寧に説明いただきましてよく分かりました。ありがとうございました。今回候補にあげられた発行者の教科書は、テーマ別で、命は命、いじめはいじめで別格に扱って、非常に明確に今日的課題に向けた資料選択がなされていてとてもよかったですと思っています。また、自ら考え議論を深めていくといった意味合いの主体的対話的な深い学びに繋がるような道徳の授業を展開できる、それに耐えうる資料なのか、そういったところが話題にはなったと思います。特に昔からのこの資料はこの価値項目によるものだから出口はここだよって、決まっている資料ではなくて、対話やものの見方とか、「えっ、そんなこと思うのか」「僕と全然違うな」というなかでより良い結論を導き出すために、互いが歩み寄っていくというような、出口的にオープンエンド的な資料も多々あったと思います。研究される中で、葛藤を生み出していい資料だなとか、いろいろな見方考え方で子どもたちの意見が深まるのではないかと、そういった視点での話し合いがされたのかどうか教えてください。</p>

<p>研究員</p>	<p>□議論されるためにということでもよかったですね。</p> <p>ひとつは、一番大事なのは子どもたちが先ず、自分の事としてとらえられるかということに重点を置きました。自分の事としてとらえられるか、そのためにも子ども達の興味を引きやすい、自分の事として捉えやすい、身近なこととして捉えやすい、そういった資料であるかということに重きを置きました。それがあってはじめて議論になるととらえました。その結果、例えば、イチローが題材となっている、松井秀喜が題材となっている、そして白川郷がある、杉原千畝が出てくる等、身近なところから郷土愛をとということも含めて、この教科書が良いのではないかとことです。</p>
<p>委員</p>	<p>□教科として位置づいた道徳となって、数年たって、先生方が記録で評価に関わるご苦労や、子ども達にとって教科となった道徳の授業に向かう変化とか、保護者の過敏な反応などはお感じでしょうか。</p>
<p>研究員</p>	<p>□個人的には大きくそれは感じてないですが、やはり教員は、そのところ評価も含め多面的多角的に子ども達が考えていくにはどうしたらいいんだろう、ということ是非常に工夫しながら進めています。そして、そういった実践がどんどん蓄積されているところではないかと思います。そのためにも、興味関心のわく資料であることが大事なことかと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>□それではよろしいでしょうか。ご質疑も尽きたようですので、道徳においては、研究員の報告にありますように、E者の教科用図書を飛騨地区の採択協議会として選定することを承認いただける方は挙手願います。(全員挙手) それでは、道徳はE者(学研教育みらい)の教科用図書を飛騨地区の選定とさせていただきます。</p>

会長	<p>□以上で国語から道徳までの種目について報告をさせていただきます、飛騨地区協議会として選定させていただきます。確認のために読み上げていきます。令和3年度使用する飛騨地区の教科用図書についてですが、国語：光村図書、書写：光村図書。社会の地理：東京書籍、歴史：東京書籍、公民：東京書籍、地図：帝国書院。数学：東京書籍。理科：東京書籍。音楽の一般：教育芸術社、器楽：教育芸術社。美術：日本文教出版。保健体育：東京書籍。技術家庭の技術分野：東京書籍、家庭分野：東京書籍。外国語英語：東京書籍。道徳：学研教育みらい。と選定されました。間違いないでしょうか。</p> <p>続いて学校教育法附則第9条規定に関する学校教育教科用図書の一般図書選定資料の小中学校特別支援教育学級用について事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>□特別支援学級における教科用図書についての説明でございます。特別支援学級では学校教育法附則第9条第1項の規定によって、教科書目録に記載されている教科書以外の教科用図書を児童生徒の障害の種類程度能力特性等に応じた図書を採択することができます。いわゆる一般図書といわれるものです。各市村に既に送付されております岐阜県教育委員会において作成された一般図書選定資料を十分に活用し、採択基準の採択にあたっての留意事項5に基づいて、適正な採択が行われるように各市村教育委員会でご配慮をお願いいたします。</p>
会長	<p>□これは確認ですが、岐阜県教育委員会で作成された資料を市村の教育委員会で考えればいいですか。</p>
事務局	<p>□岐阜県教育委員会で選定されています。その一覧から選んでいただくこととなります。全てで355冊の一般図書が選定されています。</p>
会長	<p>□県の教育委員会から選定されている中から、それぞれの学校で、子ども達の実態に合ったものを選んでいただくということです。質問ですが、いわゆる星本についてはどうなっていますか。</p>
事務局	<p>□特別支援学級では通常今の選定教科書を最初に使うことを考えます。次に星本、それも適切ではないと判断される場合に一般図書から各学校で選んでいただくこととなります。</p>
会長	<p>□特別支援学級のお子さんたちも、通常学級に交流に行ったりして学んでいるということで、通常のお子さんが使っている教科書を採択して使用する場合もあるし、あるいはその子の実態に応じたものを選んでということも含めるということでもよろしいですね。今の事務局の説明は分かっていたでしょうか。それでは、学校の実情に応じて、子ども達の実情に応じて、今のような形で特別支援学級に関しては、教科書を選ばせていただくということになります。今の事務局の説明通り、承認いただけるでしょうか。挙手願います。(全員挙手)</p> <p>・それでは第1回採択協議会で説明した通り、教科書の採択権限は、3市1村の市村教育委員会にございます。市村教育委員会においては、本日決定しました選定結果を尊重していただき、3市1村の市村教育委員会で令和3年度の飛騨地区の小中学校と中学校で使用する教科用図書を議決していただく運びとなります。当協議会で選</p>

事務局	<p>定したものを基に教育委員会で話し合っていて、7月31日までに議決をしていただきまして、こちらの事務局まで報告をいただくことになっております。これで予定していました議事は終了しますが、その他協議することはございますか。</p> <p>□その他協議事項はございませんので、諸連絡に移ります。</p> <p><諸連絡></p> <p>□第1回目でも話をさせていただきましたが、公正確保について説明をさせていただきます。第1回の協議会でもご説明しましたが、協議会で知り得たことは、公正確保のため、開催日時、場所、委員名はもちろん、協議内容についても秘密となっております。協議会でお知りになられたことは口外なさらないようよろしくお願いいたします。また、お手元の資料も本日回収いたしますので、机上に置いてそのままお帰りください。</p>
会 長	<p>情報公開について説明します。9月1日以降は開かれた採択を推進するために、飛騨地区採択協議会及び各教育委員会において積極的に情報公開をします。飛騨地区採択協議会からの公表として、9月1日より高山市のホームページ上に、1：飛騨地区採択教科書の一覧、2：第1回第2回評議会の議事録、3：意見書、4：協議委員名、をホームページに掲載させていただきます。各市村の教育委員会からも、高山市のホームページにリンクを貼っていただくことになると思います。詳細については後日文書でお伝えさせていただきます。各市村の教育委員会は9月1日のホームページ上に同じく公表というもので、各市村の採択教科書の一覧、採択理由、そして教育委員会の議決時の議事録を載せてください。情報公開請求があった場合は、協議日程や調査研究員の皆様のお名前も公開の対象となります。発行者が委員の皆様に連絡を取ってくる可能性があります。情報公開の窓口は地区の採択協議会と各市村教育委員会です。そのため9月1日の情報公開以降も、個人的に情報を求められた場合は、お話を差し控えていただく必要があることをご承知おきください。これまでのことで、補足がありましたら会長からお願いします。</p> <p>□情報公開についてです。情報公開はそれぞれの市村の教育委員会で行いますので、それぞれの協議会メンバーの方は、各業者からの問い合わせがあった場合、コメントできないということで、市村教委に聞いていただくということで対応していただきたいと思います。何故かと申しますと、今年度から9月1日以降のホームページ上に公開するものとして、昨年度までは協議会委員の名前を聞かれた場合は公開していたのですが、今年度からは、積極的に開かれた採択協議会ということで、9月1日には協議会委員の名前を掲載させていただくことにしたいと思います。その関係で万が一問い合わせがありましたら、そのような対応をお願いします。</p>
事務局	<p>□採択の議決報告についてお知らせします。各教育委員会の採択の議決報告は、期限は7月31日（金）とします。詳細については後日文書を送付します。</p> <p>続いて旅費についてです。旅費については、すでに受付で2回分をお支払いいたし</p>

<p>会 長</p>	<p>ました。支払明細書、領収書を出されていない方は、机の上に置いてお帰りください。以上で終わります。</p> <p>□採択権があるのは市村教育委員会ですので、市村教育委員会において協議していただく必要があるということです。協議の際は、地区の選定を追認していただくのではなく、再度意見を出し合っていていただいて、各教委の判断で議決していただくようお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>【閉会の言葉】</p> <p>□みなさま長時間にわたって協議を行っていただきました。お疲れ様でした。ありがとうございました。このあと、各市村におきまして、教科書の採択の協議が行われます。7月31日の報告ということですのでよろしくお願いします。また、委員のみなさまには委員名の公表ということですのでよろしくお願いします。</p> <p>本日はお疲れ様でした。気をつけてお帰りください。ありがとうございました。</p>